



美しい“ふじのく”にまち・ひと・しごと創生県民会議
東部地域会議

らしく
楽しく
つないでく

～子育て支援からうみだす
社会デザイン実践報告～

NPO法人母力向上委員会



vision：すべての人が生まれてきてよかったと思える社会へ

mission：妊娠・出産・子育て
×
受容・選択・創造

- ・ 2008年 団体発足 14年目
- ・ 2016年 NPO法人化
- ・ 2021年度 総事業数187件
延べ参加者人数約4753人
会員数36人
賛助会員24法人

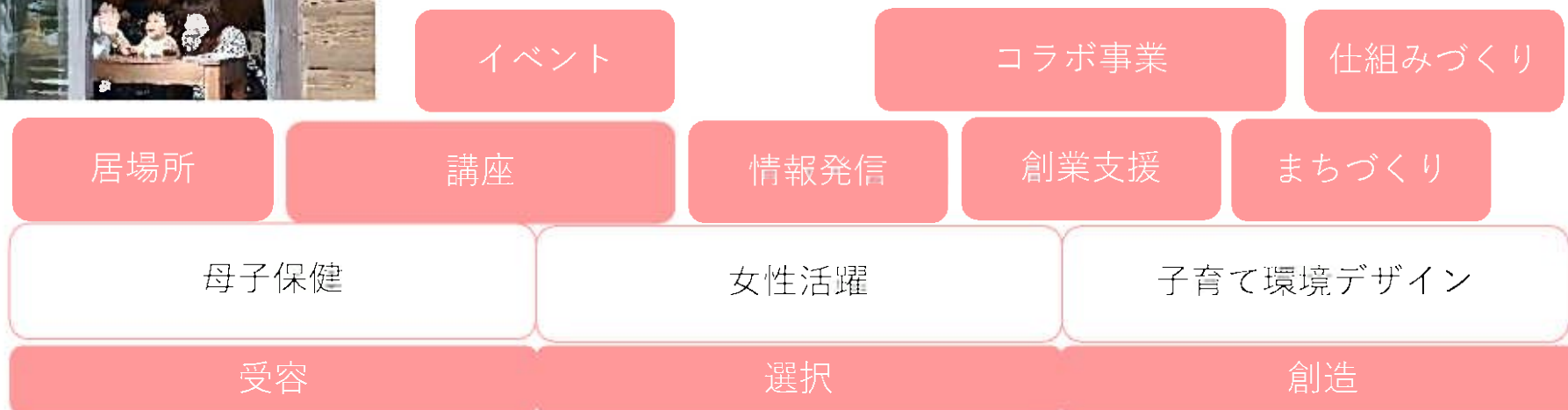
らしく たのしく つないでく



事業分野



- 1) 母子保健・家庭教育支援に関する事業
- 2) 男女共同参画に関する事業
- 3) 子育て支援に関する環境デザイン事業
- 4) 法人の目的を達成するために必要な事業



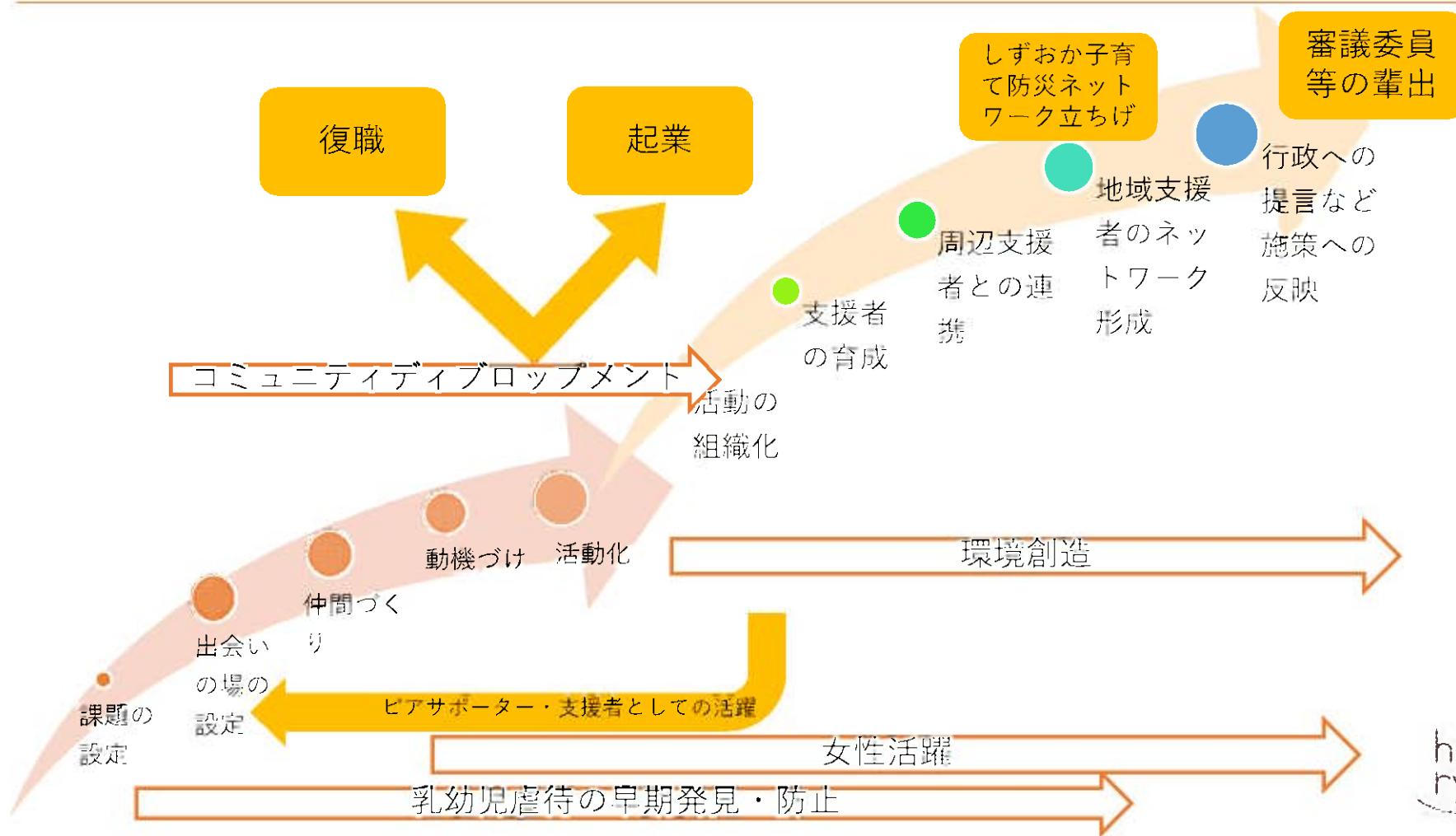
出産から活躍までの道のり

産後第1期：養生期 (出産~2か月)	産後第2期： リハビリ1期 (3か月~6か月)	産後第3期： リハビリ2期 (7か月~)	産後第4期：復帰移行期 (1歳~)
身体：修復期	身体：トラブル多発期	身体：不調慣れ期	身体：疲労蓄積期
精神：ガラスのハート	精神：疎外感・不全感	精神：楽しみと焦燥感	精神：迷惑をかけられないプレッシャー
活動：安静期	活動：はじめの一步	活動：アグレッシブ	活動：自転車操業

受容と選択肢に出会う場 親子の居場所



切れ目ない支援としての環境デザイン



支援者の育成

経験のシェア = ピアサポーター



支援者ネットワークの形成



ふじのみや子育て未来LAB

行政・助産師・鍼灸院・議員・子育て支援団体・児童家庭支援センター・企業・保育園・教員等

災害時の助け合いを目的とした しずおか子育て防災ネットワーク



児童家庭支援センター 2022年度一級内子育講座

台風15号被害から見た 子育て家庭の課題

2022年9月3日の台風15号は静岡県浜松市に大きな被害をもたらす。被災されたのは子育て中や高齢などで多くの家族が被害を受けた。被災や避難のみならず、自宅も被害を受けたらどうしたらいいか。この中で子育て家庭が抱えた課題とは？ 県内各地の子育て支援団体が支援で悩んだ課題とは？ 今後の見通しについて多くの人が話し合える機会を設けよう。

【対象者】 しずおか子育て防災ネットワーク

【しずおか子育て防災ネットワークとは】 子育て中や高齢などで多くの家族が被害を受けたらどうしたらいいか。この中で子育て家庭が抱えた課題とは？ 県内各地の子育て支援団体が支援で悩んだ課題とは？ 今後の見通しについて多くの人が話し合える機会を設けよう。

【参加費】 参加費無料
※児童家庭支援センター利用料あり

【申込】 2023年1月23日(月)まで
TEL: 053-431-1111 FAX: 053-431-1112
E: info@shizuoka-shiniseki.or.jp

【申込先】 児童家庭支援センター 3F 研修室
または オンライン受講、Zoomを使用

【申込】 申し込み
【定員】 各支援団体の定員、オンラインは6名(高学年向けの場、別途)

【申込】 会場では「お茶会」のメニューあり。Zoomにもご記入ください。お茶会あり、10%ほど。お茶会、別途ご用意いたします。

2023年 1月29日[日]
13:30~15:30(受付13:15~)

会場受講は浜松市社会福祉センター3F研修室
または オンライン受講、Zoomを使用

2023年1月23日(月)

国産防災学習センター 公式SNS

LINE Facebook Twitter

※主催：国産防災学習センター 協賛：静岡県児童家庭支援センター、静岡県社会福祉センター、静岡県社会福祉協議会、静岡県社会福祉協議会、静岡県社会福祉協議会、静岡県社会福祉協議会

メンバー発案の企画の発展

お母さんとして気になることをテーマに、ママ達が自ら企画運営。時に市の事業に



富士宮市×企業×NPOの協働施策
ふじのみやベビーステーション



2020年1月 地方創生大臣による視察

企業×NPOの協働施策
寄付付き自販機によるサポート
レンタル授乳室イベント出店



屋内外のイベントで活躍
茨城県立美術館では常設へ



新設公共施設のこどもに関する
コーナーのコーディネート



新たな課題

- コロナ感染拡大による様々な影響



対面とオンラインコミュニティ
のハイブリット支援

- 男性の育休取得と実際の家庭における役割の不均衡



マタニティクラスの開講



男性の家事育児参加促進等の
企業研修

- コロナと少子化による子育ての不顕性化



社会全体で子育てに取り組むための
Co育てアシストプログラム実施

今後の展開：今を支えて未来を創るCo育てアシストプログラムの拡充

子育てのリアルを伝え、理解者及びサポーターを地域に増やしていくことで

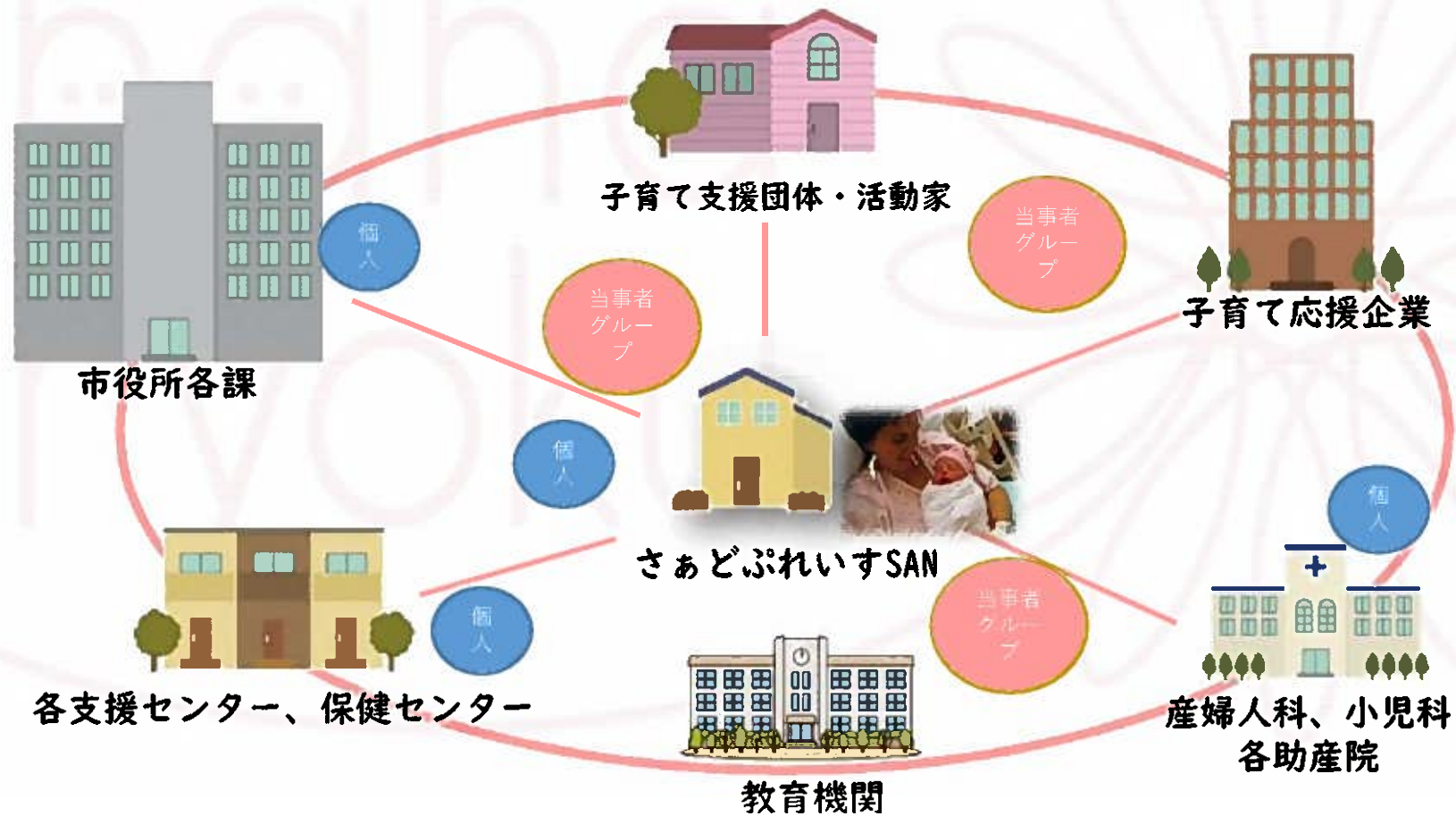
安心して産み育て活躍できる社会を構築するとともに未来人の受援力の向上を目指す



Co^{sodate}
Assist Program



点と点を結び線と面で切れ目なく支え続ける循環環境



haha
ryoku



母力向上委員会



<https://www.instagram.com/haharyoku/>



NPO法人 母力向上委員会

事務所 「さあどがれいずSAN」

〒418-0039 静岡県富士宮市野中1136-5

TEL 0544-78-0741 / FAX 0544-78-0324

mail@haharyoku.com